

令和7年12月17日

1. 出席議員

1 番	釘 尾	勢津子
2 番	宮 崎	幸 宏
3 番	笠 継	健 吾
4 番	中 村	日出代
5 番	池 田	廣 志
6 番	杉 原	元 博
7 番	樋 口	作 二
8 番	中 村	一 堯

9 番	松 田	義 太
10 番	勝 屋	弘 貞
11 番	角 田	一 美
12 番	伊 東	茂
13 番	福 井	正
14 番	松 尾	征 子
15 番	中 村	和 典
16 番	徳 村	博 紀

2. 欠席議員

な し

3. 本会議に出席した事務局職員

事 務 局 長	白仁田	和 哉
事務局長補佐	中 島	圭 太
議事管理係長	松 本	則 子

4. 地方自治法第121条により出席した者

市	長	松	尾	勝	利
副	市長	鳥	飼	広	敬
教	育	吉	牟田	一	広
政	策 総 務 部 長	川	原	逸	生
市	民部長兼福祉事務所長	岩	下	善	孝
産	業部長兼農業委員会事務局長	山	崎	公	和
建	設 環 境 部 長	山	浦	康	則
会	計 管 理 者 兼 会 計 課 長	高	本	将	行
総	務 課 長	嶋	江	克	彰
総	務課参事兼選挙管理委員会事務局長	寺	岡	弘	樹
人	権・同和対策課長	山	崎	智	香子
政	策 調 整 課 長	中	村	祐	介
政	策調整監兼DX推進室長	三	ヶ 島	正	和
広	報 企 画 課 長	田	中	美	穂
財	政 課 長	村	田	秀	哲
財	政 課 参 事	森		隆	文
公	共施設マネジメント室長	中	尾	勝	徳
市	民 課 長	幸	尾	か	おる
税	務 課 長	山	口		洋
保	険 健 康 課 長	染	川	康	輔
福	祉 課 長	高	本	智	子
産	業 支 援 課 長	松	丸	環	大
商	工 観 光 課 長	中	尾	美	佐子
農	林 水 産 課 長	星	野	晃	希
建	設 住 宅 課 長	江	島	裕	臣
建	設 住 宅 課 参 事	手	島	秀	康
都	市 計 画 課 長	堀		正	和
環	境 下 水 道 課 長	山	口	秀	樹
環	境 下 水 道 課 参 事	橋	川	宜	明
水	道 課 長	中	村	浩	一郎
教	育次長兼教育総務課長	江	頭	憲	和
生	涯学習課長兼中央公民館長	山	口	徹	也

令和 7 年12月17日（水）議事日程

開 議（午前10時）

日程第 1 議案の追加上程（市長の提案理由説明）

日程第 2 議案第89号 鹿島市教育委員会教育長の任命について（質疑、討論、採決）

日程第 3 議案第88号 令和 7 年度鹿島市一般会計補正予算（第 5 号）について（質疑、討論、採決）

午前10時 開議

○議長（徳村博紀君）

皆さんおはようございます。現在の出席議員は16名であります。定足数に達しておりますので、ただいまから本日の会議を開きます。

本日の日程は、配付しております議事日程どおりといたします。

この際、事務局長をして諸般の報告をいたさせます。白仁田事務局長。

○議会事務局長（白仁田和哉君）

諸般の報告をいたします。

本日、市長から議案 2 件の追加提案がありました。

議案番号、議案名は配付しております議案書（その 2）の目次に記載のとおりでございます。

次に、監査委員から令和 7 年度 9 月分出納検査結果の報告及び財政援助団体等監査結果報告書の提出がありましたので、その写しを配付いたしております。

以上で諸般の報告を終わります。

日程第 1 議案の追加上程（市長の提案理由説明）

○議長（徳村博紀君）

それでは、日程第 1．議案の追加上程であります。

議案第88号及び議案第89号の 2 議案を上程いたします。

市長の提案理由の説明を求めます。松尾市長。

○市長（松尾勝利君）

おはようございます。本定例会に提案いたしました議案については、慎重に御審議いただき厚くお礼を申し上げます。

本日、追加提案する議案は、補正予算 1 件、人事案件 1 件の計 2 件です。

まず、議案第88号 令和 7 年度鹿島市一般会計補正予算（第 5 号）について申し上げます。今回の補正は、国の補正予算に伴う増額について計上しており、予算の総額に370,671千

円を追加し、補正後の総額を18,494,677千円とするものです。

現在、国が進めている総合経済対策の中でも、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金及び物価高対応子育て応援手当については、物価高騰の影響を受けた市民や事業者への早急な支援が求められているところです。このため、本市としましては、国の予算成立を待つことなく検討を進め、市民生活への影響を最優先に考え、一刻も早く事業着手できるよう本日提案するものです。

歳入については、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金及び物価高対応子育て応援手当支給補助金を計上しております。

歳出については、国の物価高騰対策の関連事業として、物価高対応子育て応援手当支給事業、応援券・プレミアム付商品券発行等事業、学校給食費一部無償化事業及び水道料金負担軽減事業などを計上しております。

この中でも、応援券・プレミアム付商品券発行等事業では、全ての市民に6千円の商品券を配付し、さらなる支援策として、4千円で5千円の商品券を購入いただけるプレミアム付商品券の発行も計画しています。

また、子育て世帯への支援として、学校給食費の1月・2月分の無償化や、経済負担軽減の取組として、水道料金2か月分の基本料金減免も計画しています。これらの取組により、商品券がお手元に届く前の段階においても市民への直接的な支援を行うことが可能となり、一連の経済対策として、より効果的な支援につながるものと考えております。

次に、議案第89号 鹿島市教育委員会教育長の任命について申し上げます。

現教育長、吉牟田一広氏の任期が令和7年12月24日をもって満了することに伴い、引き続き同氏を任命したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により議会の同意を求めるものです。

以上、追加提案する議案の説明を終わりますが、よろしく御審議いただきますようお願い申し上げます。

○議長（徳村博紀君）

お諮りいたします。議案第88号及び議案第89号の2議案は、会議規則第36条第3項の規定により委員会付託を省略したいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（徳村博紀君）

御異議ないものと認めます。よって、議案第88号及び議案第89号の2議案は委員会付託を省略することに決しました。

しばらくお待ちください。

〔教育長退場〕

日程第2 議案第89号

○議長（徳村博紀君）

次に、日程第２．議案第89号 鹿島市教育委員会教育長の任命についての審議に入ります。
お諮りいたします。本議案は説明を省略し、直ちに質疑に入りたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（徳村博紀君）

異議ないものと認め、説明を省略し、直ちに質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（徳村博紀君）

質疑を終わります。

討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（徳村博紀君）

討論を終わります。

採決します。議案第89号 鹿島市教育委員会教育長の任命については、吉牟田一広氏の任命に同意することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（徳村博紀君）

起立全員であります。よって、議案第89号はこれに同意することに決しました。

〔教育長入場〕

○議長（徳村博紀君）

ただいまから鹿島市教育委員会教育長の紹介を行います。鳥飼副市長お願いいたします。
鳥飼副市長。

○副市長（鳥飼広敬君）

皆さんおはようございます。

教育長の任命について同意していただき、誠にありがとうございます。

それでは、教育長のほうから御挨拶をお願いします。

○教育長（吉牟田一広君）

同意をいただきありがとうございました。引き続き、鹿島愛の追求に真摯に取り組んでまいります。今後ともお力添えいただきますよう、どうぞよろしくお願いします。（拍手）

日程第３ 議案第88号

○議長（徳村博紀君）

次に、日程第３．議案第88号 令和７年度鹿島市一般会計補正予算（第５号）についての審議に入ります。

当局の説明を求めます。村田財政課長。

○財政課長（村田秀哲君）

おはようございます。それでは、議案第88号 令和7年度鹿島市一般会計補正予算（第5号）について説明いたします。

今回の補正は、緊急の対応が必要なものについて追加提案するものです。

議案書は1ページとなっております。

この案について、別紙のとおり補正予算書を提出するものです。

説明は補正予算書と議案説明資料でいたしますので、御準備をお願いします。

補正予算書の1ページをお願いします。

今回の補正は、予算の総額に370,671千円を追加し、補正後の予算の総額を18,494,677千円とするものです。

翌年度に繰り越して使用することができる繰越明許費は、第2表 繰越明許費によります。

2ページから3ページは、今回補正の集計表となっています。

4ページをお願いします。

第2表 繰越明許費は、予算を令和8年度に繰り越して執行する繰越明許費です。国の補正予算に伴う物価高騰対策として、物価高対応子育て応援手当支給事業、上水道未使用者等支援金交付事業、応援券・プレミアム付商品券発行等事業、水道料金負担軽減事業を令和8年度に繰り越して執行する予定としています。

5ページから6ページは、今回補正の事項別明細書です。

7ページ以降の歳入歳出の内容につきましては、別冊の議案説明資料（その2）により説明いたしますので、御準備をお願いします。

議案説明資料の1ページから3ページまでは、歳入歳出予算の増減比較表ですので、説明は省略します。

4ページをお願いします。

上段の表は歳入補正の概要です。

ナンバー1の総務管理費国庫補助金は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金で277,921千円を増額しています。

ナンバー2の児童福祉費国庫補助金は、物価高対応子育て応援手当支給補助金で92,750千円を計上しています。

下段の表が歳出補正の概要です。

ナンバー1の物価高対応子育て応援手当支給事業は、物価高騰の影響を受ける子育て世帯の18歳以外の以下の子供に対し、1人当たり20千円を支給する経費として92,750千円を計上しています。

ナンバー2の上水道未使用者等支援金交付事業は、物価高騰の影響を受ける簡易水道組合

等の生活や事業者に対して、上水道利用者と同等の支援を行う経費として3,074千円を計上しています。

ナンバー3の応援券・プレミアム付商品券発行等事業は、物価高騰等の影響を受ける市民の皆様の生活を支援するため、市内店舗等で利用できる商品券「かしまを元気に！まるごと応援券」1人当たり6千円分を市民の皆様全員へ配付するとともに、消費喚起による地域経済の活性化を図るため、プレミアム付商品券を発行する経費として233,808千円を計上しています。

ナンバー4の学校給食費一部無償化事業は、食材費高騰の影響による保護者の負担軽減を図るため、令和8年1月分と2月分の学校給食費を無償化する経費として15,999千円を計上しています。

ナンバー5の水道料金負担軽減事業は、物価高騰の影響を受ける生活や事業者に対し、令和8年2月と3月分の検針分、2か月分の基本料金2,300円を減免する経費として25,040千円を計上しています。

5ページをお願いします。

翌年度に繰り越す繰越明許費の財源内訳と繰越理由の一覧です。

4事業全て国の補正予算に伴う物価高騰対策の事業であり、令和8年度にかけて継続して実施する必要があるために設定するものであります。

以上で説明を終わります。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（徳村博紀君）

ただいまの説明に対し質疑はありますか。12番伊東茂議員。

○12番（伊東 茂君）

12番議員の伊東です。

今御説明をいただきました物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、この増額について質問をさせていただきます。

まず1点目、応援券・プレミアム付商品券発行等事業の委託料、この応援券の委託料についてお聞きをしたいと思うんですけど、この内訳がどういうふうになっているのか。

資料は補正予算（第5号）の説明書、この中に書いてある7ページの総務費国庫補助金、歳入の部分です。物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金増額というものがあるって、今度は商工費の歳出のほうに委託料として応援券・プレミアム付商品券発行等業務委託料、この中に233,370千円、これがよく分からないんですけど、全体的にどういうふうな内訳になっているのか、ちょっと教えていただいていいでしょうか。

○議長（徳村博紀君）

中尾商工観光課長。

○商工観光課長（中尾美佐子君）

応援券・プレミアム付商品券発行等事業の委託料の内訳について御説明いたします。

まず、応援券事業についてが、予算を178,970千円計上しております。プレミアム付商品券発行事業につきましては40,900千円、そのほか共通経費として、コールセンターの運営費などを13,940千円ほど計上しております。

以上でございます。

○議長（徳村博紀君）

12番伊東茂議員。

○12番（伊東 茂君）

委託料がえらい高いなという気がするんですけど、応援券とかプレミアム付商品券というのは、今プレミアム付商品券もデジタル分のがまだ残っていて、一番最後の第5回目までその受付が終わったところで、これが多分1月12日までの使用期間になっていたと思います。応援券とデジタルのこれを使う分がですね。ここでもある程度の委託料を払っていて、今回これだけの委託料をまた払うということは、デジタルの形態でする分に関しては、もうかしまんPayのほうはシステムとしては出来上がっているんじゃないですか。

それと応援券について、もちろんコピー、複写等ができないように紙が特質なものであるというのは承知をしております。今までも何回かやっている中で、毎回毎回これだけの委託料がかかっていくのか。これは入札をしているんですか。それについてお答えください。

○議長（徳村博紀君）

中尾商工観光課長。

○商工観光課長（中尾美佐子君）

委託料が多いということについてお答えいたします。

まず、応援券につきましては、市民お一人当たり6千円お配りしますので、そちらの原資のほうも入っております。また、プレミアム付商品券についてもプレミアム分の原資も入っておりますので、そちらが今回は25,000千円となっております。

それ以外の約15,000千円が事務経費となりますけれども、そちらは紙の印刷代ですとか、システムについては開発費は今回は予算のほうに計上しておりません。システムの利用料として月額が必要となりますので、そういったものを入れております。

ですので、今行っておりますプレミアム付商品券事業に比べまして、事務経費、かしまんPayのほうのシステム利用料はかかりますけれども、開発費などは除いた金額を予算計上しております。

以上でございます。

○議長（徳村博紀君）

12番伊東茂議員。

○12番（伊東 茂君）

そしたら、全体としてこの233,370千円で、その中には6千円の商品券を配付する分とか、そういうのも入っているのは分かりました。じゃ、委託料だけの資料を後日渡してください。よろしいですか。

○議長（徳村博紀君）

中尾商工観光課長。

○商工観光課長（中尾美佐子君）

委託料の資料についてですけれども、委託料そのものが233,000千円程度、こちらが委託料の全額になりますが、その中の事務経費、原資以外の金額については資料を出せると思います。

ちなみに、全員協議会のほうにお示した資料の中に、応援券のほうの事務的経費については13,970千円、プレミアム付商品券の事務的経費につきましては15,900千円、そのほか共通経費としましてコールセンターの運営費などを13,938千円、そちらは資料のほうに計上しております。

以上でございます。

○議長（徳村博紀君）

12番伊東茂議員。

○12番（伊東 茂君）

今言われたのが、応援券が13,970千円、プレミアム付商品券については15,900千円ですね。これはどうも私は高いと思うんですよ。だから、しっかりとしたその内訳を私のほうに提出してください。

これが12月議会の最終日に提案されているんですよ。次これを議論するには3月議会の前までになってしまうんですよ。2か月以上がたってしまう。

基本的に、これは題目が物価高騰対応なんです。そしたらスピード感を持ってやらなきゃいけない。全員協議会の中で、この応援券を4月から配付したいと。そして、プレミアム付商品券は、4千円で買ったものを5千円分の商品券という25%のプレミアム付商品券、これを5月ぐらいからしたいという担当課の御意見をいただきましたけど、全然これじゃ物価対応、高騰の対策にはなっていない。スピード感が足りないですよ。前回の分も本当に遅かった、結局9月ぐらいから始まって。もうちょっとスピード感を持ってこういうふうなのはやっていただきたいと思います。

だから、目標とする発行、それを先に決めて、それについて印刷会社とか、これの事務手数料をすところと調整を取っていただきたい。必ずこの応援券印刷については入札を行ってほしい。それについてどうでしょうか。

○議長（徳村博紀君）

鳥飼副市長。

○副市長（鳥飼広敬君）

伊東議員の御質疑は、早くこの事業をやってほしいということだと思います。

今回の物価高騰の対策を検討するに当たって、私たちのほうも事前に情報はありましたが、その中でなるべく早くこの事業を実施しようということを考えて検討しておりました。これまで商品券であるとか応援券を発行しておりました実績がありますから、事前の段階で事業者とか、どのぐらいのスピードでできるかということを、予算の前でありますけど、ある程度検討しておりました。

議員おっしゃったように、印刷であるとか、これは今回すると、また各家庭に郵送するであるとか、どうしてもそういった手間がかかってきます。今、4月というふうにありましたが、ここは私たちのほうも事業者と相談しながら、できるだけ早く前倒ししたいと考えております。

一方で、じゃ、3月、4月まで何もできないのかということがありましたので、できるだけ早く実効性があるものという形で、今回、給食費の無償化は1月・2月分であるとか、水道料金は2月・3月分になりますが、各家庭に事前に効果が発揮できるものも今回新しく組み入れていることになります。

それと、入札という話がありました。これはどうしても入札になると、これから多分また2か月、3か月という期間がかかってくることになるかと考えておりますので、そこはできるだけスピード感を重視するということになると、これまでの事業者と随契ということを検討せざるを得ないのかなと考えております。

できるだけ経費が安くなるということになるかと思いますが、今回、県内の自治体の中でも多分鹿島市が一番早くこの予算を上げておりますけど、情報では各自治体も商品券を発行するという形を今検討しておりますので、そうすると、なかなか事業者間での調整も難しくなってきます。私たちとしては、できるだけこれを市民の方に早く届ける手法をこれから考えていくことになるかと考えております。

以上です。

○議長（徳村博紀君）

12番伊東茂議員。

○12番（伊東 茂君）

基本的に、国のほうもこの年度末、何とか年内にこれを決めたいということで補正予算が可決されましたね。実際そこまで来るまで、あまりにも長過ぎた。国のやり方も遅過ぎますよ。高市総理大臣になってからも、二転三転しながらようやくここまでたどり着いたわけですけど、今これだけお米とかなんとかが高い。鹿島市がお米券を配付しないのはよかったとは思っています。国民とか市民の人たちが待っているんだったら、やっぱりできるだけ早くすべきですよ。

副市長がおっしゃったように、その間何もしないわけじゃない。そうでしょう。給食費の補助をするとか水道料金のこととか、それはあります。でも、やっぱり高齢者の方、年金とかがいただいている方は、一番最初に欲しいのは「助かつ券」じゃないでしょうか。そういうふうな商品券。だから私は言っているんですよ。多分印刷会社も難しいだろうからといって、4か月後の4月から始めようなんていう考え方自体がおかしいと。もっと早くなるように努力せんですか。こういうときに市役所の職員が仕事をしなくて、いつするんですか。皆さんが困っているときに。だから、それを肝に銘じてやってください。

それと、次の会議は3月議会しかこの話はできませんから今言いますけど、プレミアム付商品券、これが前回と同じように4千円で1冊を購入して、5千円分の買物ができる。25%です。私はここに市長の決断が必要だったと思うんですよ。ふるさと納税の積立基金、約1,630,000千円ぐらいあります。ここから出して、プレミアム率50%、倍になるぐらいのをしてやったらどうですか。そうじゃないと、また同じようにデジタルの商品券、今度の販売予定が多分5,000セットだったと思います。また遅れますよ、いつまでたっても。これには魅力がないんですよ。

そして、これを携帯電話に入れ込んでいって、それを可能にする。そこまで高齢者の人たちはまず無理です。

そして、なぜか分からないけど、これを佐賀の事業者に頼んでいる。どうして鹿島のピオの2階にある、あのデジタルのところにこれを御相談しないのか、そして、説明会をそこをお願いしないのか。どうですか、商工観光課の課長。

○議長（徳村博紀君）

松尾市長。

○市長（松尾勝利君）

今回の件について対応が遅いという話を今されました。我々は一日でも早く届くようにといて事前に協議をして、よその議会よりも早く今回提案をいたしました。それは我々が皆さん方のそういう思いを十分分かって対応しているということも理解していただきたいと思っています。

それと、商品券については一定程度の期間がかかります。印刷したり、いろんな手続がある中で。そういうことを含めれば、水道料金の基本料金であったり、給食費であったり、すぐできることは何なのかと考えたときに、今回2つの事業を立ち上げたわけです。

皆さんがおっしゃるように、なるべく早くというのは我々も同じ思いで取り組んでおります。ただ、どうしても時間がかかるものはやむを得ない。この前の全協でお話ししましたが、なるべく早くというのは議員の皆さん方も同じ思いですので、4月というのを少しでも前倒しできればそれはしたいというふうに思いますけど、我々も時間をいわずらにかけてこれをやっているというわけではありません。なるべく早く市民の皆さん方への対応ができる

ようにということを目標にやっているということは御理解いただきたいと思います。

○議長（徳村博紀君）

中尾商工観光課長。

○商工観光課長（中尾美佐子君）

プレミアム付商品券の委託事業者のことについてでございますが、今年度行っております事業につきましては、プロポーザルにより公募をしまして、そこで応募があった事業者から選定しております。公平に選定をしているところです。

また、かしまんPayにつきましては、普及のときに鹿島デジタル社会推進協会の方にも御協力をいただいております。

ですから、今後もそういった御協力をいただきながら、もしプロポーザルをしたときも、印刷事業者などは市内の事業者を優先するようにと契約で明記しておりまして、実際、プレミアム付商品券の紙の商品券については市内の印刷事業者のほうで印刷をしていただいております。できるだけ市内の事業者さんにも事業をしていただけるように、今回の事業についてもそういうふうに取り組んでいきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（徳村博紀君）

12番伊東茂議員。

○12番（伊東 茂君）

今年の秋から始めたプレミアム付商品券、紙ベースはすぐ完売をして、デジタルの分は5回目まで、何回となく放送が流れていました。そこまでせんといかんのかという声も聞きます。

昨日、ちょうど商工会議所にも行って、そして専務理事ともお話をしました。基本的にこれは消費喚起策だったんですね。ただし、これが消費喚起になっているのかがよく分からないと。先ほども言ったように、デジタルでやる分、かしまんPayについては、結局それを登録というか、そこにたどり着くまでに時間がかかる、やりにくいというところがあって、基本的に一番最初は5セットまで申込みというふうな形になっていたと思うんですけど、その後は幾らでも買っていいような形に今度は変わってきていると。一部の人たちが幾らでも買えるようなシステムに今度は変わってきたと。こういうことはやっぱり考えないといけないですよ。皆さんが買いやすいようなシステムをつくるとか、それを肝に銘じて、今度の商品券であったり、それとか応援券であったり、プレミアム付商品券についてはお願いをしたいと思えます。

市長や副市長がおっしゃるように、もちろん急いでいただいていると思えます。国会で決まった後に、即、議会のほうにも議案として提出をしていただいて、それは私もうれしいと思っています。ただ、何回も言うように、市民の皆さんは一日も早く手元に、そういうふう

なのが国から来たんだったら、私たちの手元にも早くいただきたいという気持ちがあると思いますので、できるだけ努力をしていただいて、そして早い時期に、それこそ春はやっぱりいろいろ、子供たちがいらっしゃるところは新入学であつたり、一番お金がかかるのが3月でしょう、4月というよりも。だから、そこの辺りも考えていただきたいなと思いますので、よろしくお願いします。

以上で終わります。

○議長（徳村博紀君）

ほかに質疑はありませんか。14番松尾征子議員。

○14番（松尾征子君）

14番松尾です。

ただいま伊東議員のほうから御意見が出ましたので、それでもいいと思っていますが、私は一般質問のときにこの問題で質問したと思います。そのとき、まだ国ははっきり決まっていなくても、3億円以上のお金が来るとおっしゃったとき、それに対しての準備は進めているということでおっしゃったと思います。だから、私はそれを聞いたときに、ああ、積極的に取り組んでもらっているなと思いましたが、今回の提案を見ますと、先ほどからありましたように、せっかくこういう制度ができたけど、やっぱり遅くしか出せない。事務的な問題で大変なのは分かります、今まで御説明もありましたからね。しかし、ここで本当に市民が、国民が望んでいた問題が出たときに、来年度にならんとそれができないとか、そういうことになってくると、せっかくの制度が、みんなが待っていることに応えられないというのがあると思うんですよ。

だから、例えば、印刷とかなんかに長くかかるとは思いますが、本当に年末にかけての大変なときですけど、印刷業務とかについて急いでもらうとか、そういうことはできないんですかね。もちろん、市役所の事務についても年度末ということではいろいろ大変だと思いますがね。やっぱりいつときも早く、本当にみんなが待ち望んでいるんですよ。今、大げさか分かりませんが、5千円、10千円のお金を何とかしたいという人がいっぱいいるんですよ。そういうときにこういう制度が出たということは本当にありがたいことだと思います。これでも十分でないと思いますがね。そういうことで、何とか早めることができないのか。そういう券の発行が一番問題だと思いますが、その辺についてはどうなのでしょう。

○議長（徳村博紀君）

中尾商工観光課長。

○商工観光課長（中尾美佐子君）

応援券の発行を早めることができないかという御質問についてお答えいたします。

私たちとしまして、ぜひ皆さんのお手元に早く届くように、できるだけ前倒しして進めたいと思っています。

これまでの経緯で申しますと、恐らく県内で一番早い予算立てだったと思います。そこに補正予算を立てるにつきましても、事業者の方にも御協力いただきながら、できるだけ早く成立させるようにということで予算を計上してまいりました。これまでも準備をしておりますし、今後も準備を早急に進めていきたいと思っております。可能な限り前倒ししてできるように努めてまいりたいと思っております。

以上でございます。

○議長（徳村博紀君）

14番松尾征子議員。

○14番（松尾征子君）

鹿島市の取組については、今日も佐賀新聞で発表になっておりましたから、皆さんが本当に期待していると思います。大変だとは思いますが、ぜひ皆さんの期待に応えて、いつときも早く出せるような対応、本当に職員の方は大変になると思いますが、しかし、これはしょうがありません。皆さんのためにぜひ取り組んでいただきたいということをお願いして、終わりたいと思います。

○議長（徳村博紀君）

ほかに質疑はありませんか。7番樋口作二議員。

○7番（樋口作二君）

7番議員、樋口作二でございます。

本当にこのたび、まずお米券が発行されなくてよかったというのは、私も判断を尊重しております。ありがとうございました。それから、幅広く、いわゆる商品購入等の応援だけではなくて、水道料金とか、学校給食とか、そちらのほうにも応援していただけたということにも対しても大きな評価をしております。

その中で、上水道未使用者等支援金交付事業についてお尋ねをしたいんですけれども、鹿島市の水道料金を納めている方には、多分、全協でお話がありましたのは、2,300円相当の支援をするということでした。同じように、上水道未使用者の方にも交付金を2,300円相当行うという話だったと思います。

そこで、簡易水道とか、小規模水道とか、そういったのにも所属しておられない上水道、いわゆる水道を飲んでいる方もおられると思いますが、例えば、簡易水道組合に一括して補助をされるのか、ずっと個人にされるのか。自分だけの井戸等で暮らされている方等は個人に交付するわけですよね。そういったところの仕組みというか、やり方をもう少し詳しく説明してください。

○議長（徳村博紀君）

中村水道課長。

○水道課長（中村浩一郎君）

それではまず、水道料金のほう、上水道に関しては、おっしゃったとおり、1期2か月分の基本料金ゼロから、2か月分ですと10トンまでの相当分2,300円、こちらを請求する際に減額して、残った分を請求させていただくという形を取ります。

上水道をお使いになっていない、それ以外の方に関しては、事業形態として先ほどおっしゃった簡易水道とか小規模水道の組合の方、それと個人の井戸、もしくは湧き水等を御利用されている方がございます。そちらのほうにも2,300円相当の交付金という形での取扱いを考えております。

まず、小規模水道とか簡易水道の組合の方に関しては、現在考えているのは、組合のほうから、代表者から世帯分の申請をしていただいて、交付を考えております。

それ以外、個人で井戸をお持ちとか湧き水等の流水等を利用して、個人でされている方に対しても1件当たり2,300円の交付を考えております。

ただ、こちらのほうの上水道を使用していない方に関しては、交付金という形ですので、一旦申請していただいての交付を考えているところでございます。

以上です。

○議長（徳村博紀君）

7番樋口作二議員。

○7番（樋口作二君）

ありがとうございます。申請等の事務があるということは、高齢者などの、ちょっといろいろ手続上難しい場面もあるかと思しますので、全ての方に行き渡るように丁寧な御説明をしていただいて、この事業を進めていただくようお願いして、私の質問を終わります。ありがとうございます。

○議長（徳村博紀君）

ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（徳村博紀君）

質疑はないようですので、質疑を終わります。

討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（徳村博紀君）

討論を終わります。

採決します。議案第88号 令和7年度鹿島市一般会計補正予算（第5号）については、これを提案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（徳村博紀君）

起立全員であります。よって、議案第88号は提案のとおり可決されました。
以上をもちまして今期定例会に付議された案件は全て終了いたしました。
よって、今期定例会は本日をもって閉会といたします。お疲れさまでした。

午前10時45分 閉会

以上、会議の次第を記載し、内容については正当なることを認め、ここに署名する。

令和 年 月 日

鹿島市議会議長 徳 村 博 紀

会議録署名議員 7 番 樋 口 作 二

同 上 8 番 中 村 一 堯

同 上 9 番 松 田 義 太